# 再評価結果（令和２年度事業継続箇所）

担　当　課：道路整備課
担当課長名：清水　勝也

| 事業名 | 一般国道４３９号 落合バイパス | 事業区分 | 一般国道 | 事業主体 | 徳島県 |
|---|---|---|---|---|---|
| 起終点 | 自：徳島県三好市東祖谷栗枝渡（とくしまけんみよししひがしいやくりしど）<br>至：徳島県三好市東祖谷京上（とくしまけんみよししひがしいやきょうじょう） | | | 延長 | 1.9km |

**事業概要**

一般国道４３９号は、県中央部を東西に縦断する幹線道路であり、「にし阿波～剣山・吉野川観光圏」における、剣山国定公園を中心とした観光周遊道路の一郭を成す重要な路線である。落合バイパスは、「剣山」、「落合集落」および「奥祖谷二重かずら橋」などの観光施設間の連携強化を図るとともに、幅員狭小や線形不良などの隘路を解消し、安全で円滑な交通の確保を目的に整備する２車線道路である。

| 平成13年度事業化 | ― | 平成14年度用地買収着手 | 平成15年度工事着手 |
|---|---|---|---|

| 全体事業費 | 42億円 | 事業進捗率 | 93% | 供用済延長 | 1.6km |
|---|---|---|---|---|---|

計画交通量　900台／日

| 費用対効果分析結果 | B／C | 総費用 | 総便益 | 基準年 |
|---|---|---|---|---|
| | (事業全体)　１．０<br>(残事業)　１．９ | (残事業)/(事業全体)<br>8.2/54.3億円<br>事　業　費：8.0/53.4億円<br>維持管理費：0.2/ 0.9億円 | (残事業)/(事業全体)<br>15.5/55.8億円<br>走行時間短縮便益: 14.5/52.0億円<br>走行経費減少便益： 1.0/ 3.7億円<br>交通事故減少便益： 0.0/ 0.2億円 | 令和2年度 |

**感度分析の結果**

【事業全体】交通量　：B/C=0.9～1.1(交通量　±10%)
事業費　：B/C=1.0～1.0(事業費　±10%)
事業期間：B/C=1.0～1.0(事業期間± 1年)

【残事業】交通量　：B/C=1.7～2.1(交通量　±10%)
事業費　：B/C=1.7～2.1(事業費　±10%)
事業期間　：B/C=1.9～1.9(事業期間± 1年)

**事業の効果等**

・国土・地域ネットワークの構築（大型車すれ違い困難区間2.4kmの解消）
・災害への備え（緊急輸送道路における対策工事の完成、落石危険箇所2箇所の解消）
・個性ある地域の形成（剣山、落合集落等の観光地へのアクセス向上）

**関係する地方公共団体等の意見**

・沿線市町村で構成される「国道438号・439号並びに主要地方道山城東祖谷山線改良促進期成同盟会」から早期整備を求める要望を受けている。

**事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等**

・平成18年3月に市町村合併(三野町、池田町、山城町、井川町、西祖谷山村、東祖谷山村)により三好市が発足。
・平成25年4月に三好市を含む県西部地域を圏域とする「にし阿波～剣山・吉野川観光圏」が認定
・平成30年3月に、西阿波地域の傾斜地農耕システムが世界農業遺産に認定

**事業の進捗状況、残事業の内容等**

・令和元年度までの供用区間は全延長1.9kmのうち1.6km
・残事業　トンネル区間：255m(取合含む)

**事業の進捗が順調でない理由，今後の事業の見通し等**

・現在、7工区のトンネル工事に着手しており、令和3年度中の完成を目指し整備を進めている。

**施設の構造や工法の変更等**

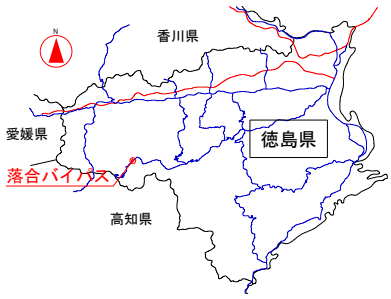
・トンネル工事において発生する残土を流用する等の計画変更を実施することで、事業費の削減を行った。

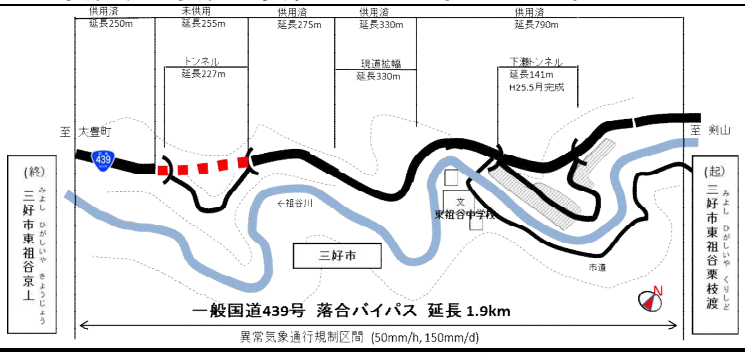
**対応方針**　事業継続

**対応方針決定の理由**

・以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えている。

**事業概要図**




※総費用，総便益とその内訳は各年次の価格を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
※総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳と一致しないことがある。